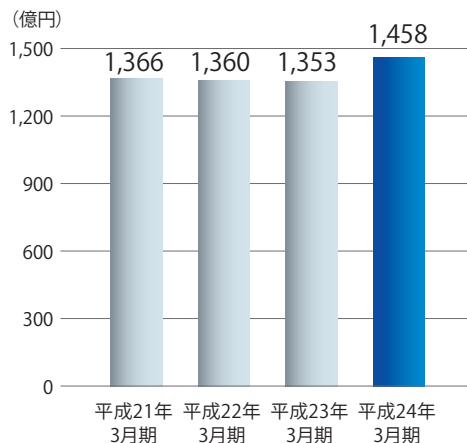


営業の概況 (連結決算)

売上高

1,458億円 前期比 **7.8%増**

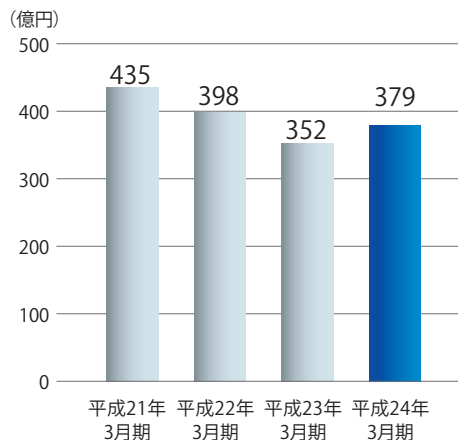


新製品の伸長などにより、 大幅な増収を達成

2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」や抗悪性腫瘍剤の投与に伴う悪心・嘔吐の治療剤「イメンドカプセル」が大きく売上を伸ばしたことに加え、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」や、4週に1回服用する骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠50mg」などの新製品も業績に寄与し、当期の売上高は前期比105億円(7.8%)増の1,458億円となりました。

営業利益

379億円 前期比 **7.7%増**

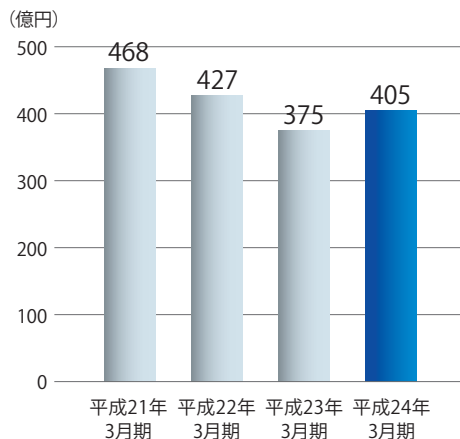


売上原価や研究開発費が増加するも、 増収効果により増益

原価率が高い新製品(導入品)の売上拡大に伴い売上原価が増加しました。また、販売費及び一般管理費も研究開発費や営業関連経費を中心に増加しましたが、増収の効果が大きく、営業利益は前期比27億円(7.7%)増の379億円となりました。

経常利益

405億円 前期比 **7.8%増**

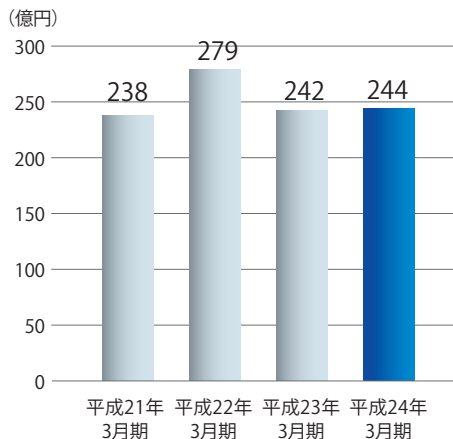


営業外費用の減少などにより増益

営業外費用の減少により営業外収支が前期比2億円増の25億円となりました。その結果、経常利益は前期比29億円(7.8%)増の405億円となりました。

当期純利益

244億円 前期比 **0.6%増**



法人税率変更の影響などにより税金費用が増加し、微増益にとどまる

特別損益は、前期と比較して損失が2億円減少しました。一方で、法人税率変更の影響などにより当期の税金費用が前期と比較して30億円増加しました。その結果、当期純利益は、前期比1億円(0.6%)増の244億円となりました。

営業の概況 (連結決算)

財政状態

	当期	前期	増減
総資産(億円)	4,364	4,244	+120
純資産(億円)	4,010	3,946	+64
自己資本比率(%)	91.2	92.1	△0.9
1株当たり純資産(円)	3,753.04	3,685.23	+67.81

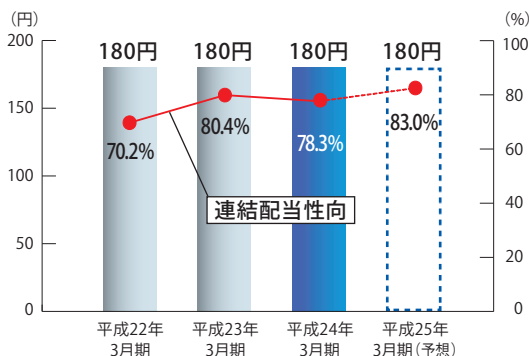
キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	当期	前期	増減
現金及び現金同等物期首残高	826	721	
営業活動によるキャッシュ・フロー	216	298	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	111	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△191	△303	+113
換算差額	1	△1	+2
増減	25	105	
現金及び現金同等物期末残高	851	826	

利益還元方針

過去3年の年間配当実績と次期予想



株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策の一つと位置づけ、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた成果の配分を行っていきたく考えています。

当期の期末配当金につきましては、1株につき90円とさせていただきます。これにより、年間にお支払いする配当金は、中間配当金90円と合わせて1株につき180円となります。次期の配当金につきましては、1株につき180円(中間90円、期末90円)を予定しています。